

今日からできる「自主学習(自学)」

学校教育課では、家庭学習としての自学の取り組みを重視しています。そこで「自学・取り組みのコツ」を3つ紹介します。

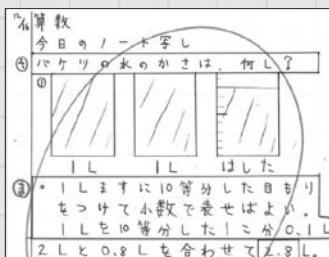
3つの自学・取り組みのコツ

1 学習を毎日継続 褒め言葉は「さしすせそ」

学校からの宿題が有る無しにかかわらず、毎日継続して取り組むことが大事です。そのためには、生活のリズムを整え、時間を決めて取り組むことが大切です。また保護者の「認めて褒める言葉掛け」で、子どものやる気を引き出します。「さ(さすが)し(知らなかった)す(すごい)ね(センスいいね)そ(そうなんだ)」の言葉掛けとともに、子どもがどんな家庭学習を行っているのかを見てあげると、やる気がどんどんアップします。

2 学習のハードルを自由に調節

自主的な学習ですから、学習内容は、基礎的・基本的なもののから探究的なものまで自由です。例えば、写真のように、その日の授業のノートを書き写すこともとても有効です。小学生高学年や中学生になれば、授業で知れた時事問題について徹底的に調べ学習をすることも、知的好奇心を高めることになります。まずはやってみることが大事です。初めは取り組みやすい内容を設定し、次第に内容を少しずつ広げ、深めていきます。



自学ノート例



3 学習を楽しむ仕掛け作り

小学生低学年のうちは、ごほうびのシールやスタンプ、保護者の「見ましたサイン」などがあると大変喜びます。保護者が問題を書いてあげると、児童はますます意欲が湧いてきます。

* * *

学校教育課では、これから家庭と学校が協力し、子どもの生活・学習環境を整えていくために少しでも役立つよう、情報を提供していきます。そして、生活・学習習慣を確立させることで、子どもたちの学力向上につなげていきたいと考えています。

義務教育費用に困るときは相談を

市内に住所を有する児童や生徒が、経済的な理由により就学が困難な場合、保護者に学用品費・学校給食費などの一部が就学援助費として支給されます。

支給対象は、生活保護を受けている人、生活保護を受けてはいないもののそれに準ずる程度に生活が困窮している家庭。世帯の収入・資産・預金などの状況、子どもの生活状態を確認し、判定を行います。くわしい内容は、在学する小中学校または学校教育課学務班(☎55-5724)に問い合わせてください。

校長リレーエッセイ

8



卒業式式辞「今が大切」

第一中学校長
鈴木 志敏

母校の校長になりました。4年経とうとしています。一中には5つの自慢があります。①元気な生徒277人②広い敷地と緑多い環境③歴史・伝統のある校風(59年目)④保護者・地域・先輩の強い協力体制⑤やる気ある職員です。特に部活動が盛んで、多くの生徒が大会で優秀な成績や実績を残しているのが本校の特色です。さらに生徒のあいさつがよく、建学の精神「みんな仲よく面倒よく」が継がれ、協力が団結がモットーです。

さて、義務教育の最終・最大の行事に「卒業式」があります。ここ数年、式辞を3つの章を立てて述べています。第1章思い出・各学級、第2章校訓・保護者の皆さまへ、第3章贈る言葉です。第3章の最後は、次の拙い自作の詩をはなむけとして式辞を結び、思いを伝えます。

「今が大切」

人は知らず知らず 大きく育っていく
人は人に支えられ 人を支えて生きていく
どんなに昨日を悔やんでも 時はすまし黙っているだけ
どんなに明日を思い悩んでも 時は笑いほほ笑んでいるだけ
だから今 今が大切 今は昨日のゴールのテープ
だから今 今が大切 今は明日のスタートライン
だから今 今が大切 だから今 今が大切……

母校を巣立っていく生徒たちが夢に向かい努力を続け、夢をかなえることを願います。「頭と心と体」を鍛える時は過ぎ去った昨日でも、まだ来ぬ明日でもない「今」の積み重ねなのです。だから、人生「今が大切」……。